

おもしろ社会②(歴史編)



鎌倉時代(2)

問題 鎌倉幕府と元との戦いについて、()に合う語句を□から選んで書きましょう。

鎌倉時代、中国ではモンゴル人が建国した元(モンゴル帝国)が、周辺の国々を支配し、領土を広げていました。朝鮮を支配した元の皇帝(ア)は、やがて海を隔てた日本をも属国(支配下の国)とするため、日本に国書を送ってきました。時の執権(しっけん)であった(イ)が、これを拒否したため、元は武力で日本を征服すべく、2度にわたって大軍で攻めてきました。これを(ウ)といいます。

1度目は、1274年の秋でした。元軍は、多数の船団を率いて博多に上陸し、日本を攻めてきました。元軍の戦い方は、武士とはちがい(エ)戦法で、(オ)という火薬兵器も使うので、日本軍は苦戦を強いられました。しかし、元軍の損害も大きく、やがて撤退しました。この戦いが、(カ)の役です。

元軍が再び攻めてくることを予測していた幕府は、博多湾沿いに(キ)を築いて、襲来に備えていました。2度目は、1281年の夏でした。元軍は、1度目より大規模に攻めてきました。元の歴史書によると、兵は40万人と記録されています。御家人の奮戦と台風により元軍は大損害を受けて撤退をしました。これが(ク)の役です。

元との戦いの後、御家人たちは、幕府に恩賞を求めましたが、多くは与えられませんでした。やがて、幕府は信頼を失い、(ケ)の関係が崩壊したのでした。

弘安	元寇 ^{げんこう}	集団	御恩と奉公	フビライ・ハン	文永
てつはう	北条泰時 ^{やすとき}	防塁 ^{ぼうるい}	チンギス・ハン	北条義時	

答え

問題 鎌倉幕府と元との戦いについて、()に合う語句を□から選んで書きましょう。

鎌倉時代、中国ではモンゴル人が建国した元(モンゴル帝国)が、周辺の国々を支配し、領土を広げていました。朝鮮を支配した元の皇帝(ア **フビライ・ハン**)は、やがて海を隔てた日本をも属国(支配下の国)とするため、日本に国書を送ってきました。時の執権であった(イ **北条泰時**)が、これを拒否したため、元は武力で日本を征服すべく、2度にわたって大軍で攻めてきました。これを(ウ **元寇**)といいます。

1度目は、1274年の秋でした。元軍は、多数の船団を率いて博多に上陸し、日本を攻めてきました。元軍の戦い方は、武士とはちがい(エ **集団**)戦法で、(オ **てつほう**)という火薬兵器も使うので、日本軍は苦戦を強いられました。しかし、元軍の損害も大きく、やがて撤退しました。この戦いが、(カ **文永**)の役です。

元軍が再び攻めてくることを予測していた幕府は、博多湾沿いに(キ **防塁**)を築いて、襲来に備えていました。2度目は、1281年の夏でした。元軍は、1度目より大規模に攻めてきました。元の歴史書によると、兵は40万人と記録されています。御家人の奮戦と台風により元軍は大損害を受けて撤退をしました。これが(ク **弘安**)の役です。

元との戦いの後、御家人たちは、幕府に恩賞を求めましたが、多くは与えられませんでした。やがて、幕府は信頼を失い、(ケ **御恩と奉公**)の関係が崩壊したのです。

弘安	<small>げんこう</small> 元寇	集団	御恩と奉公	フビライ・ハン	文永
てつほう	<small>やすとき</small> 北条泰時	<small>ぼうるい</small> 防塁	チンギス・ハン	北条義時	